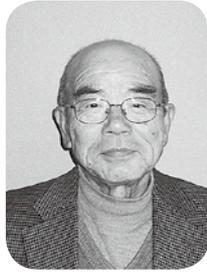




佐藤 早苗さん

見守りたい

古西見守り隊に入ってから。ほとんど登校の見守りと一緒に歩いて行くのですが、子供達とも仲良くなれて、いろいろ話しかけてくれる子もあり、可愛いし、楽しくなっています。朝自身、朝起きて一緒に行くのが楽しみになっています。朝の子供の様子から、



大下 利道さん

地域社会のつながり・絆

昨年七月七日、高齢者からも是非にと、振興事務所長の要請を受けて池ヶ原湿原のヨシ刈りボランティアに参加させてもらった。草刈機を肩に、弁当持参での参加だった。

ところが驚いたことに古川町河合町を始め、遠く神岡町か

いろいろ読み取ることも私の生きるパワーにもなっています。目的は、あくまでも子供達の安全・安心な登下校で、特に元気な挨拶を交わし合える見守り隊でありたいと考えます。市においては行政を担うために特別に選ばれた議員の方々を、一市民として目をそらさず、しっかりと見守っていきたくと思っています。

古川町 佐藤 早苗

市民の声

私も同じような装いで大勢参加して下さっている。市議会議員や市職員・観光協会の役員さん方だという。

「ああ、地元宮川町よりもこんなに大勢の方々が…」と思うと何かしら目頭が熱くなった。このことは、「飛騨市は一つ」どの思いからの支援・協力であり、飛騨市のつながり・絆を感じさせていただいた。

宮川町 大下 利道



水川 治一さん

一つ心を胸に

全共で明け暮れた平成二十四年でした。飛騨市や議会、また、多くの方々から応援していただき本当にありがとうございました。目標の日本一には届きませんでした。目標の日

河合町 水川 治一



田中 智枝さん

神岡に住んで

縁あって神岡に嫁いで5年になります。当初は、未知の生活に不安もありましたが、皆さん温かく迎え入れてくれました。出会いにも恵まれ、周りの方達に感謝しています。

神岡町 田中 智枝

飛騨牛としての確かな手ごたえは感じてきました。また、高山を出発してから長崎にいる間、トラック四台とラッピングバス二台で飛騨と岐阜県を十分にアピールできました。飛騨市は牛だけでなく、高冷地野菜のトマトやホウレン草等、飛騨のブランドとして通っており、有難く思います。すでに五年後の宮城全共に向けて挑戦が始まっています。何かの形でまた飛騨市に貢献できたらと考えています。

飛騨には、幅広い年齢層の方が町の未来を真剣に考え、活性化しようと一生懸命な人が多いように思います。神岡も人を集める要素が多くあると思うのでイベント以外でも、日常が活気に満ちた町であって欲しいと願っています。

また、この「議会会だより」も誰もが興味を持てるよう、子供が見ても理解できる、わかりやすい内容だと更に町に関心を持つ人が増えるのではないのでしょうか。

編集後記

私は昨年「議会改革とまちづくり」をテーマに、県内15市県外7市を訪問。8月葛谷・洞口議員と小浜データセンターを視察。小浜市はデータセンターの誘致により、交流人口が増え、新しい企業が進出する等相乗効果が出て、市全体にいい影響を与えている。

10月飛騨市まちづくり協議会で語られた夕張市の鈴木市長（31歳）は、就任一年で公約の企業誘致を、東京と千歳から成功させ、12月に横浜から3社目が決定。5年前、藤倉市長（現市議）にお会いし、92%が林野で財政破たんした夕張に企業誘致は困難と思っていただけに驚きました。

民間企業は行政の本気度を測って投資行動を起こす。従って行政は具体的な行程表と何としても実行するという強い意志と体制を示す必要がある。

この2市から、地域住民の温かさや地域特性を如何に売り込むかが、企業誘致の決め手だと改めて感じました。

（野村 勝憲）